

2023 年度 理事・監事研鑽会 報告

本年度の理事・監事研鑽会を開催しました。

昨年と同じく日本平ホテルにて集合開催し、来年度創立 70 周年を迎えるにあたって、協会の将来像等について考えるなど、普段十分に話し合う時間が取れない課題について活発な意見交換をすることができました。

今回の会議で得られた展望に沿って、今後の活動を当協会の創立趣旨である「会員相互の親密なる連絡を図り、薬事工業及び公共の福祉の増進に寄与することを目的とする」に則った、より良い活動となるよう推進することを確認しました。

日時： 2023 年 10 月 20 日（金） 13:30-16:30

場所： 日本平ホテル(静岡市)

参加者： 20 名

研鑽内容：以下の 4 議題についてディスカッションしました。

<議題① 次年度 70 周年を迎えるにあたり、協会の進むべき将来像>

協会創立趣旨に沿って様々な方向性の意見が出されました。これらの中でも、行政との間を取り持つ機能の強化や、会員会社がどのような活動を期待しているのかをヒアリング（アンケート）し、その結果も加味し、引き続き理事会・運営検討会で将来像について検討していきます。

<議題② 理事会社・会長会社（輪番）追加のための方策>

協会理事会社数は近年減少しており、充実した協会活動を維持するには新たな理事会社を迎えることが必用との見解から、その方策について協議しました。その結果、第 1 の方策として、会員会社から公募により選出する方向で進めることとなりました。具体的には、今後協会ホームページでご案内してまいります。

<議題③ 会則の改訂について>

全体的に項立てとなっていない箇所を項立てとし、記載不足等な点について追記する改定案が提示されました。次年度定期総会での提案に向け、理事会・運営検討会で更に検討してまいります。

また、化粧品及び医療機器分科会では、それぞれ単独の通帳により費用管理していましたが、通帳に関しては協会で 1 つに集約し、分科会収支はこれまで通り単独でも管理していくことで一致しました。

<議題④ その他、各種行事の運営上の課題と対策の協議など>

「予算と実績/見込みの管理方法の見直し」、「GMP 研究会の今後」、「年末懇談会」の 3 つのテーマを中心に意見交換がされ、今後の活動に反映していくこととなりました。

また、日頃時間が取れず実現できなかった理事監事同志の情報交換も実現でき、充実した会合となりました。

参加の担当理事・監事



会長開会挨拶



研鑽会の様子



以上